

家族の生活実態アンケート 集計結果

特定非営利活動法人

名古屋市精神障害者家族会連合会

アンケート実施期間令和4年3月～5月 回答者総数 235名

I アンケートにご回答いただく「ご家族」ご自身についてお伺います。

問1. あなたは、ご本人からみてどの関係にあてはまりますか。

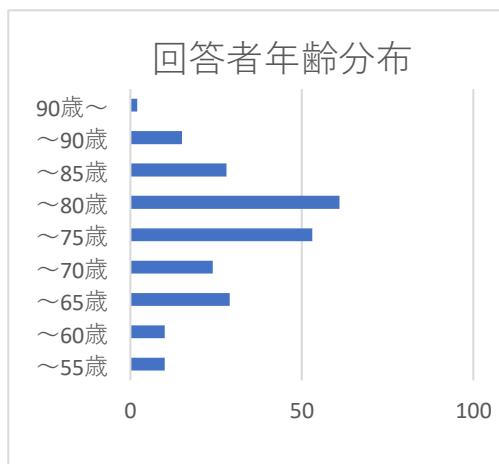
1 父	41	2 母	173
3 こども	3	4 兄弟姉妹	8
5 配偶者	4	母・祖父母	1
父母	4	その他	1

問2. あなた（ご回答いただく方）の年齢をご記入ください。

回答者 平均年齢 73.4歳

（平成26年回答者 平均68.9歳）

**以降、（ ）内の数値は平成26年度の回答数



問3. あなたは、ご本人と同居していますか。

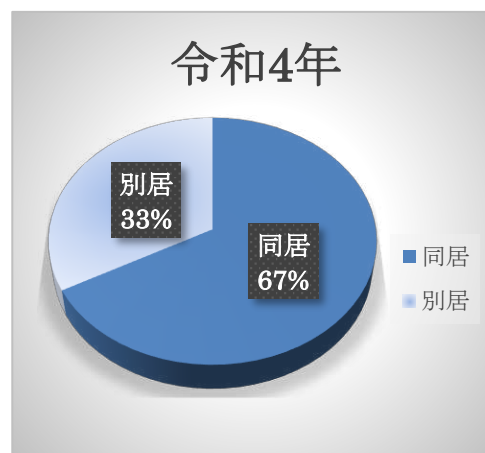
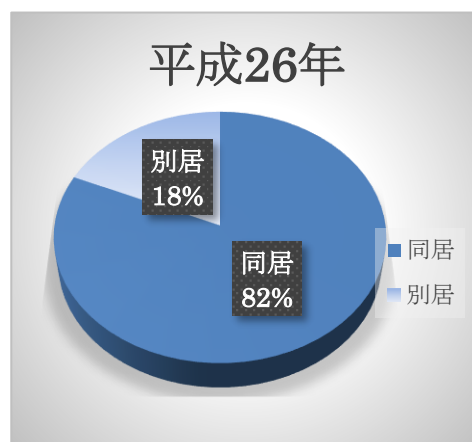
1 同居している	155	(239)
2 同居していない	76	(54)
3 その他	3	(13)

問4. 問3で「同居している」と回答された方にお伺いします。

あなたの家族構成は、ご本人を基準にして次のどれにあてはまりますか。

1 ご本人と親で同居	116	(164)
2 ご本人と親、兄弟姉妹で同居	28	(54)
3 ご本人、親、祖父母の三世代で同居	4	(10)
4 ご本人家族（配偶者、こども含む）で同居	8	(18)
5 その他	3	

[その他に記述された内容] 兄弟姉妹 定まっていない



問5. 問3で「同居していない」と回答された方にお伺いします。

① ご本人の住まい方について、ご本人を基準にして次のどれに当てはまりますか。

- | | |
|--------------------------|----|
| 1 ご本人単身で住んでいる | 33 |
| 2 配偶者（パートナー含む）とふたりで住んでいる | 9 |
| 3 パートナーを含む家族で住んでいる | 9 |
| 4 グループホームに住んでいる | 12 |
| 5 現在、本人は入院中である | 13 |
| 6 その他 | 3 |

[その他に記述された内容] サービス付高齢者住宅

② ご本人との「同居」から「同居していない」ようになったきっかけについて、該当する主なもの一つに○をつけてください。

- | | | | |
|---------------------|----|-------------------|----|
| 1 家族から独立する提案を受けた | 10 | 2 ご本人から独立する希望があった | 25 |
| 3 専門職から世帯を分ける提案があった | 10 | その他 | 12 |
| 1&4 | 1 | 2&3 | 2 |
| | | 3&4 | 2 |

[その他に記述された内容] 発達障害の弟との喧嘩で同居が無理となった 住む家がなくなった 本人からの暴力 結婚により独立 もともと一人暮らしをしていた 近隣に迷惑をかけた 保護入院

『自由記述欄の分析について、以下の通り補足させていただきます。全ての記述欄とも同様です。

記述された文章を内容別に分類しました。ここに書いた文章は、その趣旨を示す概略の文章例です。また、全ての文章を記述する事は困難であり、一部の例文である事をご理解、ご了承願います。』

③ ご本人との「同居」から「同居していない」ようになり、ご家族の心情に変化があれば、ご自由にお書きください。

回答数	44名
-----	-----

【別居したが心配】 10名

- ・4年前に別居。部屋の片付けが出来ない。コンビニ弁当、外食が多い。お金が欲しいとしばしば取りに来るので将来が心配。
- ・6年前に別居。子供（当時5歳）と二人暮らしで生活できるだろうか、食事、育児、家事がやれるだろうか、疲れて調子が悪くならないかと、とても心配した。
- ・13年前に別居した。本人との会話が出来なくなり心身的に非常に辛い日々を送ることとなった。

【親の気持ちが楽になった】 8名

- ・長い入院生活からの事だったので正直ホッとした。
- ・初めのうちは気になりましたが、日が経つにつけ気持もおちつきました。睡眠も充分取れるようになり、私達も精神的に安定してきました。本人に会う時も冷静な気持で話せるようになりました。
- ・別々に住むことでお互い干渉しなくなり気が楽になった。家賃を払い経済的負担は増えた。

【お互いが良かった】 8名

- ・2年前に別居。私達も本人も言い合いが無くなり、会ったときも、穏やかに話せるようになった。
- ・6年前に別居した。それ迄、本人と二人暮らしで暴力もあり、数回骨折したので別居し、今では一人で仕事もし、自立できているので、その点安心した。
- ・3年前に別居した。本人も私（母）も自由に自分の時間を楽しんでいる。離れてお互いの長所に気付いた。

【当事者の自立希望意思で】 5名

- ・12年前に別居 親・兄弟姉妹を極端に嫌って別居したが、親の思いが行き過ぎ、本人を苦しめた結果から

だと未だに親も苦しんでいる。幸せになって欲しいと願う。

- ・3年前に別居 当初は、本人が自立を目指して料理を自炊したりゴミ処理をしたりしていたが、数年後から掃除が荒れ放題になった。生活援助が必要、郵便なども滞る。

【親の都合で】 4名

- ・1年前に別居した。家族が本人の将来のためと思い、独立することを勧めた。本人が今の生活を継続していけるよう支援を続けていきたいと思っている。

【医師・支援者から勧められた】 3名

- ・2年前に別居、心療内科の医師から鬱が直らないのは同居しているからかもと言われアパート暮らし。その後自殺未遂がありどちらが良いかは分からない

問6. あなたの配偶者についてお伺いします。

1 配偶者あり 151

2 配偶者なし 25

21 死亡により配偶者なし 34

22 離婚により配偶者なし 12

問7. ご本人の入院や治療、社会参加、生活について家族の中で意見が対立したり、考え方が一致せず、苦労したことがありますか。

1 ある 115

2 ない 101

Ⅱ ご本人（精神障害者）のことについてお聞きします。

問1. ご本人の性別をお伺いします。

1 女性 93

2 男性 136

問2. ご本人の結婚歴などについてお伺いします。

あてはまるものすべてに○をつけてください。

1 未婚 184

2 既婚 16

3 離婚歴あり 15

4 子どもあり 1

問3. ご本人の年齢をご記入ください。

平均年齢 45.9歳

問4. ご本人の現在の病名は次のうちどれですか。主なもの1つに○をつけてください。

1 統合失調症 176

2 うつ病 6

3 双極性障害（躁うつ病） 11

4 発達障害 18

5 神経症 3

6 てんかん 4

統合失調症・発達障害 3

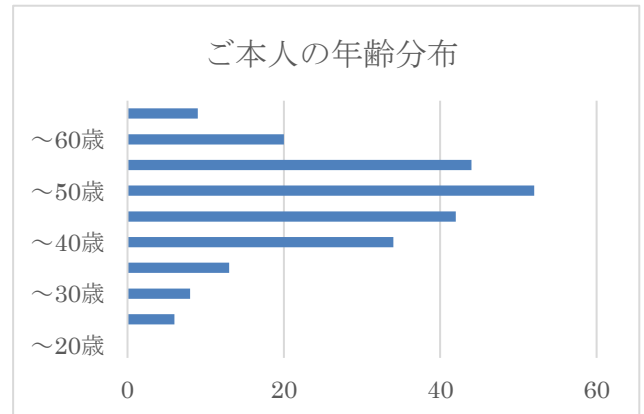
統合失調症・てんかん 2

双極性障害・発達障害 3

発達障害・てんかん 2

7 病名を聞いていない 0

8 その他 7

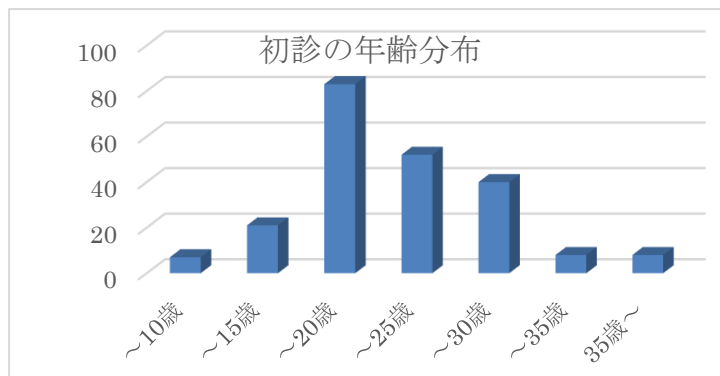


[その他に記述された内容] 病院に行かない パニック障害 高次脳機能障害 糖尿病併発 心不全併発

問5. ご本人の初診は何歳の時ですか（おおよその年齢でも結構です）。

平均 22.3歳 (23.4歳)

~10歳 7
 10歳~15歳 21
 15歳~20歳 83
 20歳~25歳 52
 25歳~30歳 40
 30歳~35歳 8
 35歳~ 8



問6. 振り返ってみると、変調に気付いたのは何歳ごろですか。

1 0歳~15歳 46 2 16歳~22歳 112
 3 23歳~29歳 43 4 30歳以上 21

問7. 発病から初診までどれ程かかりましたか。

1 1年未満 110 (136) 2 1年~3年 66 (100)
 3 4年~6年 22 (29) 4 7年以上 22 (25)

問8. 初診に至るまでに、誰かと相談しましたか。

1 相談した 129 (182) 2 相談しなかった 90 (109)

問9. 問8で「相談した」その相談相手は誰でしたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1 親戚 17 (17) 2 家族 66 (67) 3 保健センター 32 (50)
 4 医師 56 (78) 5 知人・友人 19 (32)
 6 障害者基幹相談支援センター 10 (9) 7 警察 3 (10)
 8 学校の先生 11 (15) 9 区役所 3 (3) 10 その他 10 (21)

[その他に記述された内容] 名古屋市子供若者総合相談センター 愛知県相談センター
 教育相談所 本人が自ら行くと行った 民生委員 いじめと感情教育委員会に電話した

問10. 説得して受診しましたか。

1 説得した 105 (132) 2 無理やり 38 (62) 3 ご本人から 63 (59) 4 その他 8 (28)

[その他に記述された内容] 自傷で保護入院 相談人と共に 会社から発作で病院へ
 内科から精神科へ 往診

問11. ご本人が受診して診断を受けた後、あなたがご本人の病気に十分な情報を得られるまでにどれ程の時間がかかりましたか。

1 3か月以内 49 (63) 2 6か月以内 19 (24) 3 1年以内 30 (54)
 4 2年~3年 59 (81) 5 4年~6年 28 (4年以上 63) 6 7年以上 20
 7 現在も得られていない 11 (17)

問12. あなたは、ご本人が初めて精神科を受診して診断を受けたとき、その精神疾患についての知識がありましたか。

1 ある程度はあった 49 2 あまりなかった 54 3 ほとんどなかった 122
(あった・ある程度あった 74) (なかった 230)

問13. あなたは、ご本人が精神科を受診する際、抵抗がありましたか。

1 あった 83 (153) 2 なかった 138 (141)

問14. 問13で「あった」と答えた方で、回答できる範囲でその内容をお聞かせください。

回答数 71名

【病気への無知・まさか…】 18名

- ・一時的な受験ノイローゼで、そのうちに治ると信じていた。
- ・まさか自分の子供に精神疾患があるとは思っていませんでした。なぜなら、兄弟親戚にも過去の夫婦においても全くない事でしたから大変な衝撃でした。

【不安】 14名

- ・精神科と聞いただけでこわかった。これからの不安で頭がいっぱいになった。
- ・近所に単科精神科病院があったが、そこにかかったら強い薬を出されたり、そこにかかること自体が人生の烙印になると思い、少しでも思春期もみてくれる良い医師やクリニックにかかる必要があると考え、病院選びに迷ったり、予約に時間を要した。薬を出され、対症療法で治らない、一旦精神科にかかったら薬で脳にダメージを受けると恐れた。

【偏見】 13名

- ・精神科は私の若い時は「きちがい病院」と呼ばれ、普通の間がかかるところではない。異常な人で人間でないような取り扱いがされていたから、偏見から自由になっていなかった。
- ・精神病というのを受け入れることが内心嫌だった。見下す考えが心の中にあった。頭がおかしい？病気、私の子育ての仕方に問題があったのか？遺伝の問題？と考える事もあった。

【世間体】 8名

- ・家族、親戚に相談しても親が甘やかしているからだ。近所の人にみっともないから精神科へ行くのはやめてほしいと言われ困っていた。

【肯定的】 5名

- ・あるには有りましたが、それよりも何とかしなければという気持ちの方が大きかった。中三の夏休みから本人自身が「僕の頭がおかしい、勝手に人の声がする」と言い出した。
- ・本人が大変辛い思いをしていた。その様子を見て。

【強制的入院】 5名

- ・本人通院の説得に時間を要した。他病名にて入院後異常出現のため強制的に精神科へ入院しました。
- ・長い間、受診を望んでいましたが、警察の方の説得があり受診できました。感謝しています。

【将来の不安】 5名

- ・将来の事を心配していた。
- ・本人に病識が無く、日常生活の中で親の注意や要望を無視し自分の偏った考えへ行動を強引に押し通す。その結果、家庭内が絶えず紛糾し平穏な生活が出来ない。

問15. これまでに、近隣とのトラブルなどで肩身の狭い思いをしたことがありますか。

1 あった 66 (115) 2 なかった 157 (174)

問16. 問15で「あった」と答えた方で、回答できる範囲でその内容をお聞かせください。

回答数 65名

【大声・暴れる・迷惑行為】 35名

- ・深夜、大声で町内を歩まわる。他人の車に傷を付ける。
- ・バイクの高い音や、道を通る人の声がうるさいと怒鳴ったり、家の前に車が止まっているとすぐに警察に110番通報をして呼んだりする。
- ・自分の意に添わない事があり、隣の奥さんに大声で苦情を言い、菓子折を持って泣いて謝りに行った。病状悪化のとき、怖かったと思う。
- ・近所のポストに本人がいろいろなものを入れて迷惑をかけた。

【近隣からの苦情】 8名

- ・本人ががまんを抑える事が出来ない時、窓に向かって大声で話して気をおちつけている。このような事があるので通路に水をまかれたり、ベランダにブラの袋（空袋）を投げ入れられる。
- ・暴言暴力で迷惑。ブラブラしているのが目ざわりだと言われた。

【警察の介入】 11名

- ・家族の看病中に本人が不安になり、突然自宅二階の屋根に登り私を探していた。近所の通報で、パトカー救急車等、大騒ぎになった。精神病院に行きましたが、直ぐに帰された。
- ・21歳の時、母親と口論の末、発作的に2階の窓から飛び降り自殺未遂。直後に気がつかないで近所の人より電話、通報、救急車と警察がサイレンならしてくる。当時、私は東京に単身赴任中。病院に救急搬送、半年入院し退院。その後も不穏の都度、大声を出して近所迷惑。私が押さえつけることに抵抗してパトカーを本人が呼ぶ、2回あり。

【周りの無理解】 8名

- ・新しく引っ越して来た家族とは意思疎通が難しい。古い付き合いがあれば町内会の助け合いで声がかかり、頼みやすい。
- ・近隣ではなく、夫の妹から「うちの家系にはない」と告げられたが、一緒に居た義姉さんが「私の娘だって同じ様な病気になっているよ」と、言ってくれて、気持ち助けられた。

Ⅲ ご本人の現在の精神科での治療についてお聞きします。

問1. ご本人が初めて受診してから早い段階（およそ3か月以内）で病気に対する情報が得られていれば、その後の対応は違っていたと思いますか。

1 思う 108 (160) 2 思わない 26 (24)
3 どちらとも言えない 88 (109) 4 その他 2 (6)

問2. ご本人の現在の精神科の受診状況で該当するものに○をつけてください。

1 通院中 205 2 入院中 18
3 3ヶ月以上治療中断 2 4 受診拒否・未治療 5

問3. 家族の同伴で受診していますか。

- 1 通常は同伴通院 74 (86) 2 状況により同伴通院 43 (85)
- 3 ご本人のみ 103 (113) 4 家族のみ(受診拒否) 3 (9)

問4. 代理で薬をもらいに行っていますか。

- 1 通常は代理 17 (19) 2 状況により代理 33 (38) 3 ご本人のみ 151 (205)

問5. ご本人の服薬管理についてお伺いします。

- 1 できている 167 2 できていない 19 3 どちらともいえない 31

問6. ご本人の症状についてお伺いします。

- 1 安定している 116 2 不安定である 47 3 どちらともいえない 64

問7. ご本人に病識はありますか。

- 1 ある 151 2 ない 24 3 どちらともいえない 49

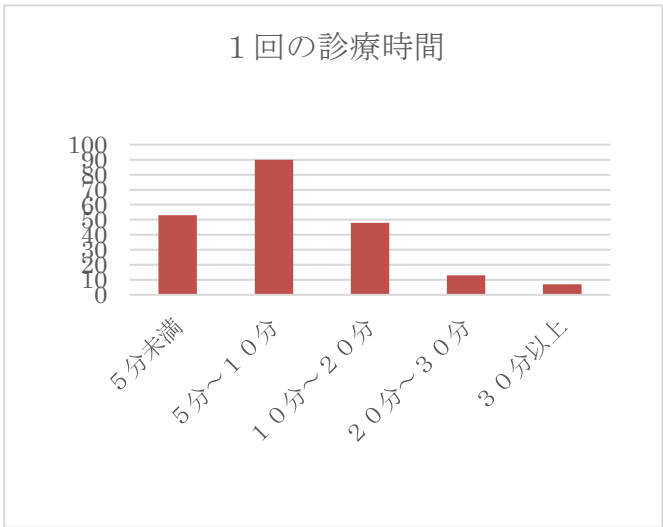
問8. 現在、ご本人が受診している医療機関は次のうちどれにあたりますか。

- 1 精神科病院(通院または入院) 123 2 大学病院や総合病院などの精神科 22
- 3 精神科(クリニック) 67 4 心療内科 13 5 その他 1

[その他に記述された内容] 記入なし

問9. 現在の1回の診療時間はどのくらいですか。

- 1 5分未満 53
 - 2 5~10分未満 90
 - 3 10~20分未満 48
 - 4 20~30分未満 13
 - 5 30分以上 7
- (平成26年平均 9.85分)



問10. ご本人が受けている精神科の治療について、

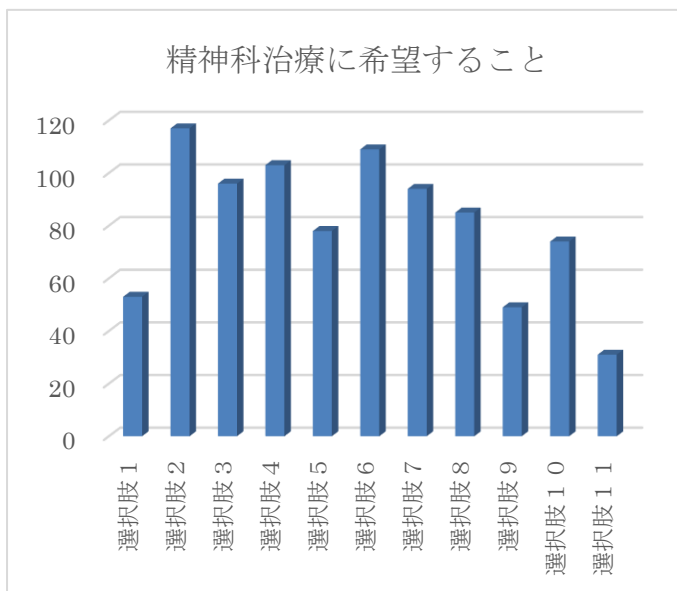
あなたは満足していますか。

- 1 満足している 82 (110) 2 満足していない 49 (67)
- 3 どちらともいえない 82 (101) 4 その他 12 (14)

[その他に記述された内容] 問22の自由記述欄を参照ください

問11. あなたが精神科治療に対して、希望することは何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 病名の説明 53
- 2 現在の病状の説明 117
- 3 回復の見通しの説明 96
- 4 薬の説明 103
- 5 その他の治療方法の説明 78
- 6 本人への接し方の説明 109
- 7 利用できる社会復帰に関する
社会資源の紹介 94
- 8 家族の悩みごとの相談 85
- 9 家族のみの相談 49
- 10 急変期の対応
(時間外・夜間・土曜・日曜) 74
- 11 その他 31



[その他に記述された内容] 問22の自由記述欄を参照ください

問12. あなたは、ご本人の治療について、主治医から十分な説明を受けていると思いますか。

- 1 思う 82 (126)
- 2 思わない 108 (139)
- 3 その他 23 (34) [その他に記述された内容] 問22の自由記述欄を参照ください

問13. ご本人が初めて精神科を受診した際、不満に思ったことはありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 精神科医やその他の職員の態度が、不親切、威圧的だった 35
- 2 ご本人の話を親切に聞いてくれなかった 42
- 3 家族の話を親切に聞いてくれなかった 41
- 4 ご本人の成育歴の聞き取りがなかった 38
- 5 病名や治療方法について、ご本人への十分な説明がなかった 91
- 6 病名や治療方法について、家族への十分な説明がなかった 107
- 7 診察までの待ち時間が長すぎた 65
- 8 受診した精神科の建物の外観や待合室の雰囲気が悪かった 12
- 9 そういう経験はなかった 40
- 10 その他 25 [その他に記述された内容] 問22の自由記述欄を参照ください

問14. ご本人の入院回数についてお伺いします。 平均の入院回数 2.15回 (2.79回)

- 1 0回 60
- 2 1回~3回 112
- 3 4回~6回 31
- 4 7回~9回 7
- 5 10回以上 15

問15. ご本人の通算入院年数についてお伺いします。 平均入院年数 2.51年 (4.15年)

- 1 1年未満 82
- 2 1~3年未満 27
- 3 3~5年未満 16
- 4 5~10年未満 18
- 5 10年以上 41

問16. ご本人は、精神科病院に家族の同意で医療保護入院をしたことはありますか。

1 ある 114 2 ない 107

問17. 問16で「ある」と答えた方で、ご本人との関係を教えてください。

1 関係がこじれた経験がある 33 2 関係はこじれなかった 84

問18. 問17で「こじれた経験がある」と答えた方で、あてはまるものにすべて○をつけてください

1 家族の同意で勝手に入院させたと責められた 26
2 外泊・退院も同意しろと責められた 7
3 退院後も何かにつけて恨まれ続けられている 10 4 その他 7

[その他に記述された内容] 自分で不当だと第三者機関に連絡した
妄想で自分の家庭は他にあるとの思いに至った 問22の自由記述欄を参照ください

問19. 現在、ご本人が入院しているご家族に退院についてお聞きします。

1 退院させたい 11 (11) 2 入院させておきたい 13 (31)

問20. 問19で「入院させておきたい」と答えた方にお聞きします。その理由についてあてはまるものすべてに○をつけてください。

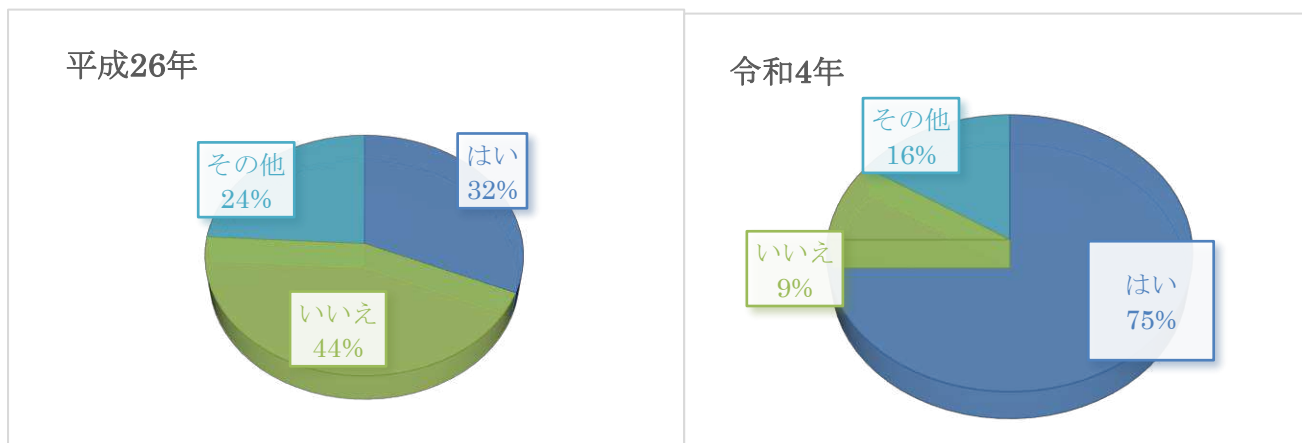
1 肉体的にも精神的にも限界である 7 2 周りに迷惑がかかる 4
3 家族関係が悪くなる 4 4 一緒に生活する場がない 5
5 病状の対応に自信がない 9 6 生活を支える自信がない 9
7 病院にいれば安心できる 8 8 親の介護がある 4
9 他に障害者がいる 3 10 その他 2

[その他に記述された内容] 先生の見解では、自分の生活を始める必要があるとのこと

問21. 退院後の生活支援を家族任せではなく、ご本人のニーズに合わせた地域生活支援などの仕組みがあれば退院は可能ですか。(現在入院してはいないが、入院経験のある家族の方も回答あり)

1 はい 24 (17) 2 いいえ 3 (24) 3 その他 5 (13)

[その他に記述された内容] 問22の自由記述欄を参照ください



問22. あなたが精神科医療に対して、今後、望む事柄があればお聞かせください。

回答数 83名

【病気・症状の説明】 18名

- ・診断名を伝えるとき、その病気の説明と家族の対処の仕方は説明して欲しかった。病名だけしか伝えられなかった。知識が全くない家族に対してあまりにも冷たい!!
- ・初診の時、本人や家族に病気の事を十分説明したとしてもなかなか理解しづらい。その後の丁寧なフォローがあれば、治療する側もされる側も誤解の無い方向へいけるのではないか。
- ・薬だけでなく、医療は本人支援になくてはならないので聞く耳を持って欲しい。本人の話を理解出来なくてももっと聞いて欲しい。本人への対応は人により違うので、アドバイスが必要。

【病院・医師への不満と要望】 15名

- ・個人のクリニックに通院しており、本人の調子が悪くなり家族が困っていても入院が簡単に出来ない。
- ・パソコンに向けて打ち込んでいる時間を短く、顔を覗いて話を聞いてほしい。本人の症状（長く立っていたり、座ってられない）に対して、薬だけの対処でなく、データで事例があれば紹介して欲しい。
- ・病名を付ける事が治療の目的でなく、今の当事者の状態、家族の環境に合わせて病状に合わせて解決できる方向性を相互に考えていく医療。病院にかからなくても環境を変えると良くなる時、その環境がある。家族の対応で良くなりそうなら家族カウンセリングとか初期に治療方針を決めると良い。

【薬に関する説明】 10名

- ・本人の病状をきちんと説明して欲しい。どういう状態だからこの薬を処方しているという説明を知りたい。
- ・精神科医は薬の調整中心で本人の思いや困っていることに関心がないのか?と思う。じっくり話を聞いて、薬とあわせて、考え方のゆがみを気づかせる行動療法など、ていねいに対処してほしい。その人の生きにくさからの解放と一緒に考え行動してほしい。
- ・日本も世界のように薬漬けでない、入院させない、患者のインフォームドコンセントを精神科でやって欲しい。患者が苦しまない、気持ちに寄り添うことを望む。

【診察時間】 5名

- ・診察時間が短くてなかなかゆっくり話すことができない。必要な薬の話だけで終わってしまう。できればもっと親にどう対処したらよいか話してほしい。

【当事者の支援】 10名

- ・明るく話しやすい雰囲気、いつでも（電話でも）対応してほしい、本人の将来の生活を具体的に提案し、実践してほしい。親が言っては聞いてくれないので、主治医と親とで話し合える場を作ってほしい。
- ・アウトリーチがもっと普及して欲しい。精神科特例をなくし、医者・看護師がゆとりを持って一人一人の治療に当たれるようになって欲しい。

【家族支援・家族の話を聞いて欲しい】 13名

- ・本人の支援とは別に家族への支援は不可欠なものだと考えます。また、リハビリは医療のみで完結するものではないことを本人、支援者ともに理解し、様々な社会資源に当事者目線、家族目線での意見を反映する必要があります。
- ・当事者の言うことのみでなく家族の言うことも聞いて欲しい。家族間の問題で、病気のこととは関係ないと話合ってくれない。家族がどんなに困っているか知って治療してほしい。

【親無き後のこと】 9名

- ・親の方が先に亡くなったとき、本人の居場所を作って欲しい。
- ・親なきあと問題特に経済的に心配。親が活着している間に支援を受け自立した生活を送れるようにしたい。

【その他】 3名

- ・精神科に任せておくのではなく、国が諸外国の進んだ例を学び、それを取り入れた諸施策を実施すること。身体拘束など人権が守られない点はすぐに現状を調べ改善することが大切である。
- ・患者を社会に戻す活動や地域施設が無い。保健所に責任者がシステムとして存在していないも同然。心理療法士やオープンダイアログなどのサポートがシステムとして無い。国の保健行政として障害者の存在を理

解させる教育を、時間をかけて行って欲しい。

Ⅳ 医療・障害福祉サービスについてお聞きします。

問1. ご本人のサービス利用状況についてお伺いします。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1 医療機関のデイケア・ナイトケアを利用 46

2 訪問看護を利用 71

3 地域の作業所や通所施設を利用 54

4 地域活動支援事業所 37

(Ⅰ型：居場所型、Ⅱ型：デイサービス型、Ⅲ型：作業所型)

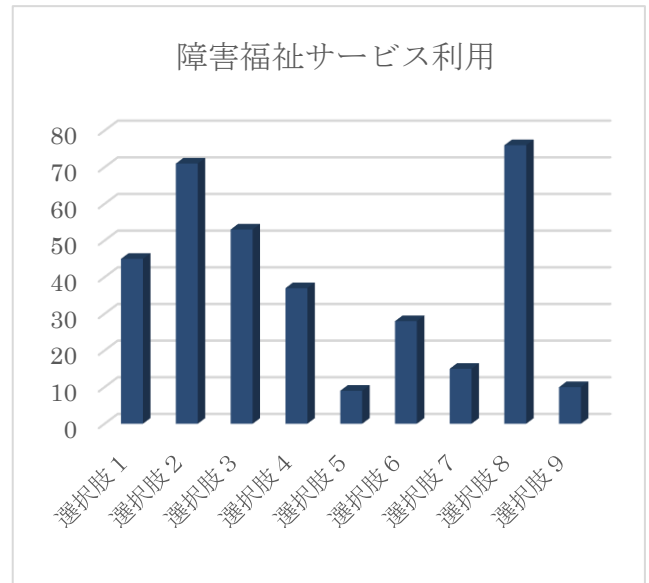
5 生活訓練施設を利用 11

6 ホームヘルパーを利用 28

7 グループホームを利用 15

8 どのサービスも利用していない 76

9 その他 7



[その他に記述された内容]

子供一人で毎日家におりどんなサービスがあるか知りたい。 本人が拒否して困っている。

問2. 本人の福祉的就労状況についてお伺いします。

1 障害者枠で一般就労 20

2 就労移行支援利用 10

3 就労継続支援A型利用 10

4 就労継続支援B型利用 45

5 どれも利用していない 120

6 その他 7

[その他に記述された内容] 一般就労 上司だけには障害の事を伝えてあるが、一般就労
現在、休職中 現在は自営の手伝いを(後2年で閉店予定なので)

問3. 医療・福祉サービスの利用頻度(複数利用者はトータル)をお伺いします。

1 開所日毎日 19

2 平均週3日~4日 33

3 平均週1日~2日 44

4 平均月1日~3日 21

5 その他 22

[その他に記述された内容] 利用していない。 申請中 月1回の通院のみ

月に一度、障害者枠就労の就労日誌を医療センターに見せに行く約束、10年以上続いている。

問4. サービス利用に至った経緯を教えてください。

1 医療機関の紹介 57

2 障害者基幹相談支援センターの紹介 31

3 就労相談事業所の紹介 11

4 作業所や通所施設の紹介 19

5 障害福祉課や保健センター等行政機関の紹介 17

6 その他 23

[その他に記述された内容] 家族会の席で知識を得ることができた。 自力 新聞記事で知った。
私が必要を感じたから医療機関へお願いをした。 本人が調べ、友人等の情報で希望。

問5. ご本人が一般就労（福祉的就労は除く）されている方の雇用・就労形態をお伺いします。

- 1 正社員 6 (4) 2 非正規社員 11 (7)
3 パート・アルバイト 24 (23) 4 自営業 3 (2)
5 その他 5 (2)

[その他に記述された内容] 正社員になっても1年～2年でまたは、半年位で辞める。
障害者枠で5時間労働、時間給だが、厚生年金など社会保険に加入している。

V 手帳・年金・就労などご本人の所得補償についてお伺いします。

問1. 精神障害者保健福祉手帳を持っていますか。

- 1 持っている 223 (280) 2 持っていない 12 (24)

問2. 手帳を持っている方に等級をお聞きします。

- 1 1級 10 (12) 2 2級 200 (253) 3 3級 13 (15)

問3. 問1で「手帳を持っていない」と答えた方にお聞きします。

- 1 手帳があることを知らなかった 3 (18)
2 手帳があることは知っていたが、持っていることを知られたくない 1 (5)
3 ご本人が拒否している 6 (8)
4 ご本人が了解すれば申請する 2 (10)
5 その他 2 (4)

[その他に記述された内容] 本人、家族共いずれば手続きをと思っておりますが踏みきれていません。

問4. 障害年金を受給していますか。

- 1 受給している 198 (245) 2 受給していない 37 (59)

問5. 障害年金を受給している方に年金種別をお聞きします。

- 1 国民年金 145
2 厚生年金 42

*種類の分からない方、無回答が11名

手帳保有内訳	1級	2級	3級
持っている	10	200	13
年金受給している	10	185	3
年金受給していない	0	15	10

問6. 障害年金を受給している方に等級を

お聞きします。

- 1 1級 10 2 2級 185 3 3級 3

問7. 問4で障害年金を「受給していない」と答えた方にお聞きします。

- 1 障害年金の制度を知らなかった 2 (6)
2 障害年金の制度は知っていたが、今は考えていない 7 (13)
3 ご本人が拒否している 7 (10)
4 申請したが受給要件に該当しなかった 14 (19)

問8. 問7で「受給要件に該当しなかった」と答えた方にお聞きします。申請はどのようにされましたか。

1 ご本人で申請 5 (3) 2 家族で申請 10 (12)
3 医師やワーカーと相談して申請 2 (8) 4 その他 1 (18)

[その他に記述された内容] 年金の払い方が悪かった。

問9. 問7で「受給要件に該当しなかった」と答えた方にお聞きします。該当しなかった理由は何でしたか。

1 初診日証明 3 (3) 2 保険料未納 8 (12)
3 障害状態 2 (6) 4 病名 0 (4) 5 不明 1 (3)

問10. ご本人の所得についてお聞きします。

1 障害年金額	月額	平均	7.2万円	該当者	176名
2 就労による収入額	月額	平均	5.6万円	該当者	63名
3 生活保護費	月額	平均	5.9万円	該当者	5名
4 その他の収入額	月額	平均	4.6万円	該当者	11名
5 ご本人の所得合計額	月額	平均	10.6万円	該当者	188名

問11. 同居・別居を問わず、ご本人の生活にご家族が支出しているものすべてに○をつけてください。

1 食費 161 2 住居費 132
3 光熱水費 144 4 医療費 35
5 衣服費 94 6 交際費 34
7 通信費(携帯電話やインターネット) 80
8 娯楽費(旅行やイベント) 55 9 交通費 27
10 こづかい(日用品) 74 11 支出なし 20 12 その他 13

[その他に記述された内容] グループホームの経費不足分 入院費、入院中の家族の食費
電化製品の修理、買い替え時の出費など 自家用車の維持費 保険 ギャンブル

問12. ご家族がご本人に支出している合計額は 月額平均 5.1万円

問13. ご家族(ご本人を除く)の1か月の世帯収入は、回答者178名で

月額平均 34.9万円 ではあるが、中央値(順位の中央)は20万 である。

問14. ご本人が病気になったことで転職や退職など、ご家族の就労状況は変わりましたか。

1 変わった 44 2 変わらなかった 166

問15. 問14で「変わった」と答えた方で経済的な問題が発生しましたか。

1 発生した 36 2 発生しなかった 8

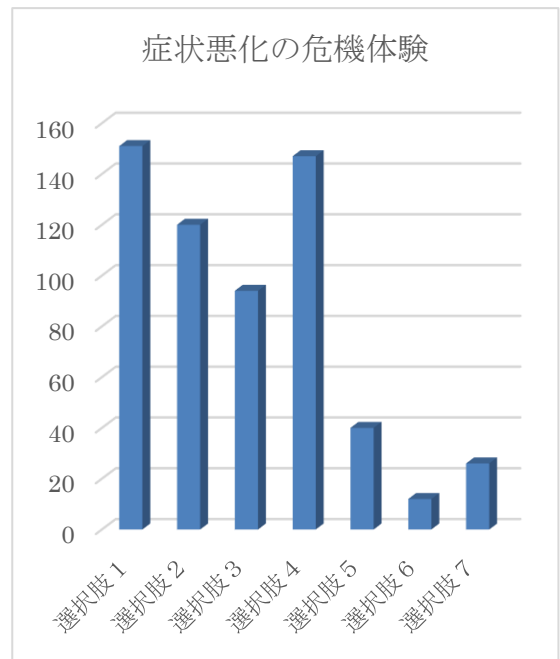
VI あなたの日常生活についてお聞きします。

問1. ご本人の病状が悪化したときの危機的体験について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 会話が成立せず、意思疎通がうまくできなくなった 152
- 2 暴言、暴力が出現し、家族が身の危険を感じる
ことがある(あった) 120
- 3 近所に迷惑をかけないか常に不安がある(あった) 94
- 4 ご本人がいつ悪化するか恐怖心がある(あった) 148
- 5 リストカット、自殺の不安がある(あった) 40
- 6 その他 12
- 7 このような状態は体験したことはない 26

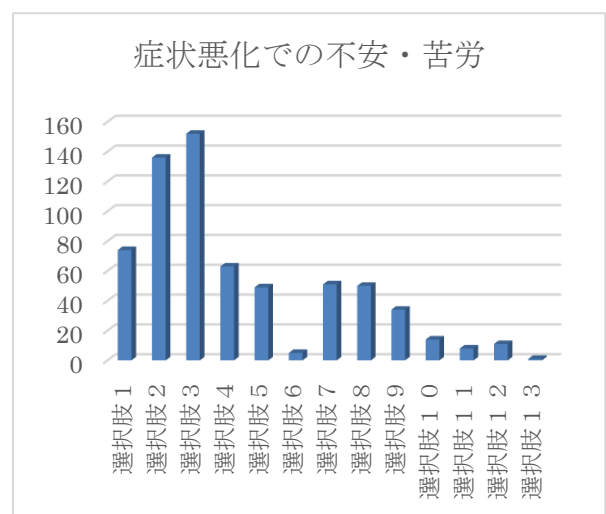
[その他に記述された内容] ・妄想を信じていた。

- ・家出する。(警察に捜索願を再々お世話になる)
- ・外国に行くのではないかと不安だった。
実行しようとしたので入院。
- ・金銭管理ができなくなる為、本人の入金を断つ。
家庭内の金銭を目に触れない様に。



問2. ご本人の症状が悪化したとき、どのような不安や苦勞がありましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 仕事を休まざるを得なかった 74
- 2 いつ問題を起こすかという恐怖感が強くなった 136
- 3 家族自身の精神状態・体調に不調が生じた 152
- 4 家族が身の危険にさらされていると強く感じる
ようになった 63
- 5 近隣とのトラブルで肩身の狭い思いをした 49
- 6 近隣とのトラブルで転居を余儀なくされた 5
- 7 警察に通報せざるを得なかった 51
- 8 医療機関に相談したが
「本人が受診に来なければ何もできない」
と言われた 50
- 9 保健センターに相談しても有効な支援は得られなかった 34
- 10 警察に相談しても、事件性がないと対応できないと言われた 14
- 11 障害者基幹相談支援センターでは対応困難と言われた 8
- 12 その他 11
- 13 特に不安も苦勞もなかった 2



[その他に記述された内容] 家族の不安などを聞いてくれるところを探していた。

病院に相談して上手く対応してもらった。 基幹相談支援センターは何の役にも立たない、家族会を頼る。
どこに相談しても解決方法には至らず、焦る気持ちがあったと思う。 遠方まで本人を探しに行ったことがある。
発症当時、家族会も支援を受ける所も無かった。本人は家族の中では危険な存在だった。

問3. ご本人の病状が悪化したとき、苦勞して対応された状況を可能な範囲で教えてください。

回答数 122名

【家族の不安と疲弊】 60名

- ・無理難題を親に求めてくる。困らせようとしてくる。暴言、暴力、長い時間束縛して話してくれない。親兄弟の職場に電話してくる。辞めざるを得なくなる。そして縁を切ってくる。
- ・不穏になると必ず「死にたい」と言う。殺したくなる。いつ不穏になるかわからない。ひどい時は大声、さけび、自傷行為、泣く、生理前が特にひどい、頭をかべや床にたたきつける、髪の毛を引っ張る。
- ・保健センターに相談するとタクシーに頼んで病院に連れて行くよう言われたが本人は1晩中、大騒動後で寝てしまい、2F 寝室より連れ出せなかった。タクシーも拾えず、電話してもつかまらず困った。保健センター相談員、親切な人、冷たい人、やる気のある人、ない人、能力の差が大きい。
- ・朝方まで話をきいた事が何度もある。親もヘトヘトで睡眠薬・安定剤を5年ぐらい飲んだ。ケンカになり殺人が起きてもおかしくないと思った。
- ・本人の意思（症状）にとことん合わせた。夜半に「旅に出る」と言い出し他県まで家族全員、車で移動する事数回。症状のおさまりを待つ対応。家で数回、その度に警察に届ける対応。しかし、入院はさせなかった。
- ・常時食欲があり、過食による体重増加。本人は妄想の世界にどっぷりとつかっていて会話がなり立たないためコントロールできない。毎日低カロリー食で食べ応えのメニューを考えるのに苦勞した。

【その場から逃げる】 15名

- ・あらゆる事に対して怒りのるつぼであったため、殺されないようにするのがやっとだった。身の危険を感じた時、家を脱出して逃げるのがやっとだった。
- ・退院した時は病状が良いから薬を吞まなくなり、幻聴が強くなり、（親を殺せと幻聴）が言ったといわれて私達は逃げました。又、私が電波を流しているから、おまえが悪いと殴りかかり大変怖い思いをしました。まだまだ色々有りましたが書き切れないのでこれでおわりにします。
- ・警察から、離れて生活したほうが良いと言われ2週間名古屋市内を泊まり歩いた。これは子供にとっては良くなかったことが今になって分かり、子供が暴れてもすぐに家に戻るようにしている。いつも身の危険を感じているが、自分の子供に手をあげることはやらないといつも想っている。子供がおちつくまで自分の室に閉じこもっている。

【警察】 13名

- ・本人が不安定になると親が家を出る様アドバイスを受けたので2~3時間家をあげましたが出る時が大変でした。時間によっては出られず、暴れ出すと手をつけられず、警察を呼び、病院に連絡して病院に連れて行ってもらいました。警察官達はとてもいねいで優しかったです。
- ・通院が出来なくなり、暴力が出たので警察に通報、入院させた。病院に相談しても病院敷地内まで連れてこないに対応出来ないと言うばかり。
- ・幻聴、妄想があったため、徘徊に依り警察にお世話になりました。

【病院へ連れて行けなかった】 10名

- ・本人が受診の意思が無く病院クリニックと相談に回ったが、どこも本人を連れてくるようにというばかりで困り果てた。

【なんとか入院できた】 8名

- ・最初の入院の際、病識がないため、ウソをついて車を病院の方向へと走らせて行ったところ車内で（主人の車の中）ものすごく激しく興奮。病院でも診察室でも大声で叫び、男の人達に連れて行かれた。辛かった。

【薬】 9名

- ・お医者より頂いたお薬を嫌がって飲まずにゴミ箱に捨ててしまい大変でした。飲ませるのに本当に苦勞しました。

- ・夜、ベランダから屋根に上がりかけた。自分もすぐ上がり、なだめ、すかし落ちつかせて、室にもどらせた。薬を多量に飲んだ。
- ・他の人の言うことがわからなく、自分自身の思いにこだわった。薬も自分は病気ではないといい、飲まなかった。外出して、何でも契約してきてしまった。

【同居家族の無関心】 4名

- ・病院につれて行く事が大変だった。主人は無関心で？なのか、いつも私に任せきりで辛かった。
- ・父親が床に入った夜中に、本人から話を聞く相手をする事が多く私も働いていたので寝不足と病気の知識・対応の仕方がわからず辛かった。（父親は息子に社会とはと訓示が多く病気を理解できなかったの）
- ・私達が海外勤務中に発症、急ぎ帰国。自宅は人に貸して母の自宅に同居。うるさい母と、訳の分からない息子の間で生活する毎日が一番苦しかった。家族や兄弟達の狭間で、気づかれない様にかたづける自分。

問4. 治療の中断や病状が悪化したときに対応してほしいことは何ですか。

二つ選んで○をつけてください。

- | | |
|--------------------------------------|-----|
| 1 精神保健・医療・福祉の専門職が訪問して、ご本人に働きかけてくれる | 108 |
| 2 同じ病気の体験をした人（ピアサポーター）が、訪問して働きかけてくれる | 31 |
| 3 すぐに入院できるように訪問して、ご本人を搬送してくれる | 60 |
| 4 どのように対応したらいいか24時間365日、相談に乗ってくれる | 92 |
| 5 ご本人との話し合いの場に同席し、一緒に対応を考えてくれる | 93 |
| 6 その他 7 | |

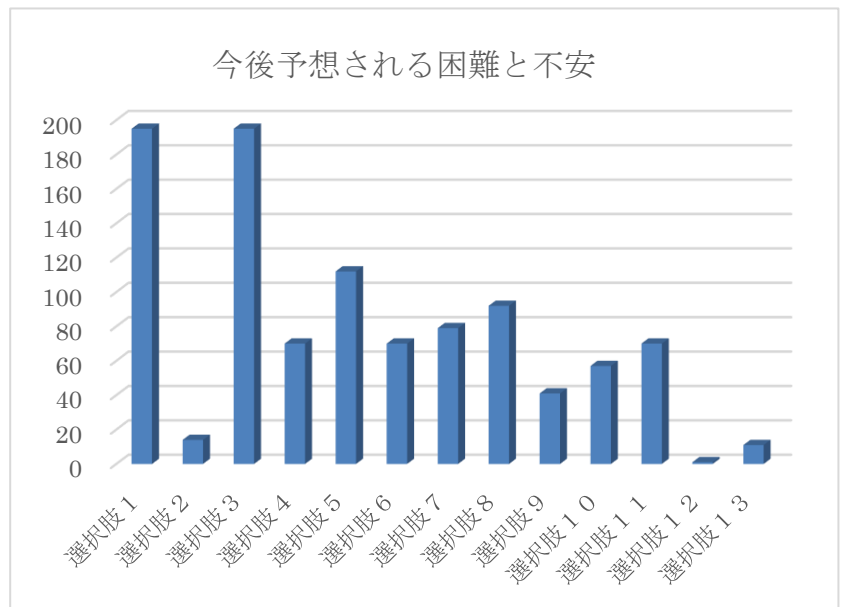
[その他に記述された内容] 本人が居る所で連絡、電話さえできない。

家族以外の本人が信頼できる人（なかなか難しいですが）がいてくれたらといつも思います。

就労継続支援でハローワークの人の話がうれしかった。

問5. 今後、起こると予測される困難や不安はどのようなことですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|------------------|-----|
| 1 ご家族の高齢化 | 195 |
| 2 祖父母の介護 | 14 |
| 3 親亡き後 | 195 |
| 4 病気の重篤化 | 70 |
| 5 ご家族の病気 | 112 |
| 6 家族構成の変化（死別や別居） | 70 |
| 7 日々の暮らし | 79 |
| 8 生活費など経済的な問題 | 92 |
| 9 遺産相続問題 | 41 |
| 10 地域からの孤立・無援 | 57 |
| 11 住いの問題 | 70 |
| 12 特にない | 1 |
| 13 その他 | 11 |



[その他に記述された内容] 兄弟との関係 兄妹に迷惑がかからないか心配。

ひどい引きこもりで殆ど人の手にたよらないと生きていけない息子が入る施設はあるのか、又、経済的に？。

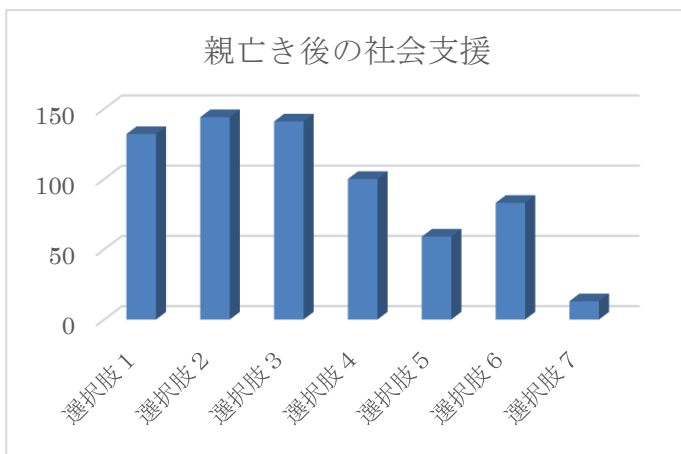
本人が継続的に一人で通院できるか。 親以外に相談する事を恐れているため…。

本人の結婚、出産が上手くいくか。 本人の健康管理、異性問題。

問6. 親亡き後（ご家族が支援できなくなった状態も含む）、ご本人にどのような社会的支援を望みますか。

あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | | |
|---|-----------------|-----|
| 1 | 24時間365日対応の相談支援 | 132 |
| 2 | 医療・福祉の訪問支援 | 144 |
| 3 | サービス利用の相談支援 | 141 |
| 4 | 日中の居場所確保 | 100 |
| 5 | 地域の見守り | 59 |
| 6 | 成年後見と権利擁護 | 83 |
| 7 | その他 | 13 |



[その他に記述された内容]

- ・本人とメール、電話、訪問等、密に連絡を取って本人が相談しやすい人を周りに多く作ってほしい。
- ・一人暮らしでも契約による金銭管理などの支援。高齢者と同等の選択できる支援。
- ・セイフティーネット、幸福追求の社会づくり。
- ・一人で生活できないので、病院のグループホームに入るよう主治医に勧められた。長らくご苦労さんと言われたが、我が子はどういう立場になるのだろうと様子を見ています。

問7. 親亡き後のことについて、ご本人とお話したことがありますか。

- | | | | | | |
|---|----|-----|---|----|-----|
| 1 | ある | 106 | 2 | ない | 118 |
|---|----|-----|---|----|-----|

問8. 問7で「ある」と答えた方にお伺いします。可能な範囲でお話の内容を教えてください。

回答数 81名

【相談支援の窓口】 16名

- ・自立して生活出来るかどうかの話し合い。兄弟姉妹に頼ることが出来ない事を話し、やむを得ず施設に入居する事に（親が高齢で面倒をみる事ができなくなった時）
- ・相談できる人、動いてくれる人をみつけておくよう助言した。
- ・親無き後の話をすると、現実を知る事の不安恐怖から耳をふさいでしまう。自分一人では生きてゆけないから死ぬしかないと思っている。福祉医療訪問支援が必要

【一人暮らしの生活全般の習得】 11名

- ・生活の中で、少しずつ自分でやれる事を増やすようにしていますが、なかなか行動に移すのは時間がかかりそうです。（掃除、お金の管理など）
- ・親が生きてるうちに、一人で生活の基礎、家事スキルを身につけるようにしておく。医療・福祉サービスとつながっておく。相談できる人を持ち、伝えることができるようにしていく。一人暮らしへの道も考える。

【親以外の親類・兄弟姉妹による支援】 12名

- ・何かあったら訪問看護師さんに相談するように。成年後見は不正もある所があるから、金銭管理は姉に相談しながら進めるように。
- ・私達が亡くなくても、住んでいる所に住みたい、そして妹が近くにいるので、妹も兄を見ていくからいいよと、言ってくれているので、安心してます。

【お金の管理と使い方】 12名

- ・あなたは、一人では生活できないわね。病院よりは自由なグループホームに入り、お金は後見人に管理してもらいながらね…と話しました。
- ・話しても先のことは理解されず、かえって焦る。そのまま続くと思っていて焦る。

- ・親亡きあとの経済事情を話し合い本人の経済について具体的に表で表し本人も少しは分かったと言っていた(複写して本人も持っている)

【住居】 11名

- ・親亡き後どのように生活していくのか。親亡き後、本人を受け入れてささえてくれるようなグループホームを、もっと数をふやしてほしい。また、グループホーム・作業所への援助金をふやしてほしい。
- ・自宅は売却し市営住宅へ転居の考えと経済的に自立しないといけない生活支援(ヘルパー・訪看)受ける事。
- ・自立するために退院後、一度宿泊型自立訓練施設で生活してみる事を提案、現在グループホームで生活している。

【相続】 5名

- ・遺産相続について、経済的自立のため、分配について兄弟で話し合った。医療機関との連帯は担当の兄弟を決めた。自立生活のため、金銭管理、感覚を養う。
- ・障害年金で生活できなくなったら(本人の)兄に相談して今住んでいる家、土地を売ってそのお金がなくなったら生活保護の手続きを取ってもらうようにと話した。

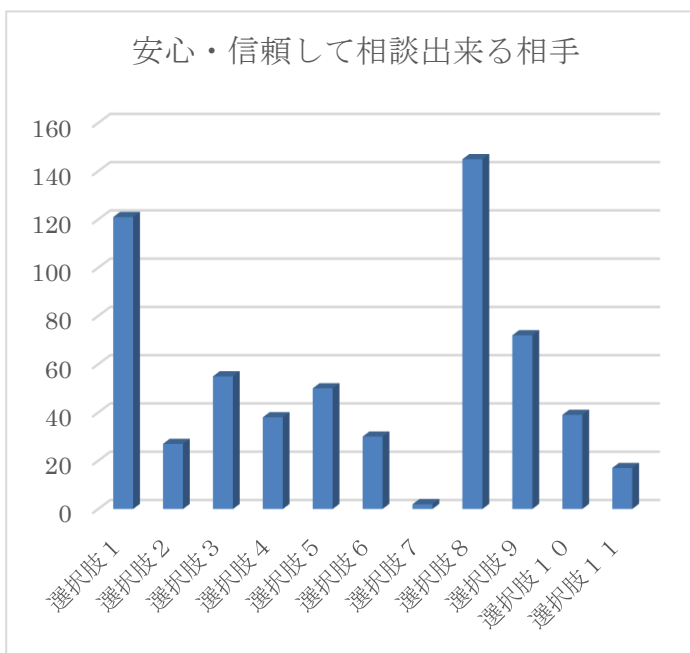
【その他】 15名

- ・「親はいつまでも元気であるわけではない。支援受けて一人での生活になれると良いね」に対して「そうかな?」と、また現実としては受けとめられない様子「お母さんがいるから私は元気であることができる」と言われると返事ができない。
- ・家族会で親亡き後の勉強をしていると伝え息子も不安や心配があると思うから「これから少しずつ話ができたらと思う」と伝えました。息子の反応は「うんうん」とうなずく感じでした。

問9. あなたにとって、安心し、信頼して相談できるのは誰ですか。

あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 主治医 121
- 2 看護師 27
- 3 医療機関のソーシャルワーカー 55
- 4 作業所や通所施設の職員 38
- 5 障害者基幹相談支援センターの相談員 50
- 6 行政職員(保健センター・障害福祉課など) 30
- 7 地域の公職者(民生委員など) 2
- 8 家族会の仲間 145
- 9 ご本人の兄弟姉妹 72
- 10 友人・知人 39
- 11 その他 17



[その他に記述された内容]

病院の勉強会で知り合った家族数名

計画相談支援員 夫 親戚 家族会の相談者 見守り契約者(私の代理人) 誰もいない

訪問看護、悩みを聞いてもらえ、支援策を教えてもらえる訪問看護師。

私はカウンセリングに通っていますので、そのカウンセラーです。

中部シンセサイズの仲間、オープンダイアローグの相談室。

Ⅶ 家族の健康状態についてお聞きします

問1. あなたの健康状態をお聞きします。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | | |
|-----------------------|---------------------|------------|
| 1 十分に睡眠がとれない 55 | 2 食欲がない 8 | 3 疲れやすい 95 |
| 4 抗精神病薬・睡眠薬を服用している 41 | 5 持病があり治療を受けている 121 | |
| 6 介護給付を受けている 6 | 7 特になし 51 | 8 その他 7 |

[その他に記述された内容] 老親の介護でストレスがたまる。

歩行困難となりリハビリを受けている。介護デイサービス 歳を取った。自分の今後が心配

問2. あなた以外の家族（ご本人以外）の健康状態をお聞きします。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| 1 抗精神病薬・睡眠薬を服用している 33 | 2 持病があり治療を受けている 101 |
| 3 あなたが日常生活の世話をしている 46 | |
| 4 あなたが日常生活の世話を受けている 9 | |
| 5 介護給付を受けている 10 | 6 該当者なし 23 |
| 7 特になし 53 | 8 その他 9 |

[その他に記述された内容] 妻も同じで、体力低下との闘いや物忘れなど。 姉妹の援助がある。

音信不通なので様子は不明。 親の介護。 夫が週一回リハビリに通っている。

問3. あなたは、常に生活上の不安を抱えておられますか。

- | | |
|----------|-----------|
| 1 はい 115 | 2 いいえ 106 |
|----------|-----------|

問4. ご本人が病気になってから、あなた（あなた以外の家族も含む）の生活状況に影響がありましたか。

- | | |
|-----------|-----------|
| 1 あった 162 | 2 なかった 55 |
|-----------|-----------|

問5. 問4で「あった」と答えられた方にお伺いします。あなたの生活状況の影響について、可能な範囲で教えてください。 回答数 139名

【常に精神的不安がある】 32名

- ・当事者との二人だけの生活なので息苦しさをを感じる。時々逃げ出したいと思うことがある。
- ・夫も死に、経済的に不安です。今は、私が入院、死亡の時を考えると不安ばかりです。
相談に乗っていただける所があれば教えてください。
- ・こだわりが多く、一日中確認行為がある為、頭が休まる時がないのでとても疲れます。
- ・私の家族の事は二の次になり、本人（当事者）への対応が最優先することになり、身体的にも精神的にも疲労する。気疲れが多い。

【家族が病気（精神）になった】 10名

- ・ストレスが重なり、心の余裕が無く新しい事、何かやろうとする意欲が無くなった。
友人との交流も少なく話し相手が減る。心身の不調の慢性化
- ・私はリュウマチ、带状疱疹、扁平苔癬。主人は狭心病、アルツハイマー認知症で（要介護3）現在です。

- ・父親がうつ病になり自殺してしまった。私も仕事を始めたが、体調が悪化した時には仕事を休まざるをえなかった。

【自由が無くなった】 20名

- ・自由に行動ができない、買い物、旅行など。
- ・当事者中心の生活にならざるを得なかった。(半分以上は犠牲を受けた生活)
- ・友達や同級生との距離が遠くなった(我が家の話ができない) 本人の同級生やその親御さんから聞かれても話ができない(話しても理解がむずかしいと思うと話さない)

【趣味・旅行などが出来なくなった】 7名

- ・自由に旅行が出来なくなりました。友人・知人との会話内容に気をつけて、精神病の子がいるという話をしないようにしている為、人との関係が親しくなりにくくなりました。
- ・長く続けていた趣味を続けられなくなった。

【仕事の制限が生じた】 31名

- ・パートを辞めた。私も精神的に不安定な時期があった。父親の理解があまりなかった。
- ・仕事第一の生活態度が、家族の健康、平和第一に変わった。おかげで仕事のやる気が半減し、就労態度が悪くなったように思う。仕事が減った。
- ・近所や保護者から孤立して精神的に辛かった。心身の不調を起こした仕事が出来なかった。外泊外出を控えることが多い。

【家族関係の悪化】 9名

- ・父親を追い出し、別居して生活する事になった。結果ニカ所で住むようになった。いつも不安定な気持で、外出後家に戻る時に、戻りたくないような嫌な気持ちになることが辛い。
- ・明るい気持ちになれず、生活を楽しむ余裕もなかった。本人と姉達に隔たりが出来、不仲になった。
- ・長男(本人の弟)が全く家に立ち寄りなくなった。本人と顔を合わせることを拒否している。

【経済的な不安】 6名

- ・医療費が高く経済的に厳しかった。他の兄弟の教育費が出せず、進学せず。共稼ぎをせざるえなかった。
- ・経済的に本人がお金の管理能力がなく、あればあるだけ使うので全くゆとりがなくなった。

【その他】 14名

- ・私も病気の勉強をして、理解するのに10年近くかかりましたが、今はこの子と共に生きていく事でいろいろ家族会の人と話をして、より深い経験をして自分も少しは成長したかな?と思い、先生、家族、家族会の人に感謝しております。
- ・まず今までの友人や親族とも会ったり話したりすることが煩わしく(苦痛)距離をおくようになりましたが家族会で同じ痛みや辛さをもった方々と出会い、むしろ心から悲しみや時々の喜びなどわかちあえる幸せを感じています。
- ・当然、病気の息子と向き合う事が第1の仕事になり、他の二人の息子をないがしろにしてしまった。普通だったら、社会で仕事を持ち働いていたかもしれない。16歳から30歳までは、「あと5年頑張ればなんとかなる」と呪文のごとく口ずさんでいた。

問6. ご本人が病気になってから、あなたは、それまでやってきた趣味などを行う余裕がなくなったことがありますか。

1 ある 108

2 ない 87

3 趣味が持てない 11

4 その他 10

【その他に記述された内容】 時々やりはじめるが、集中力がとぎれ続かない。

逆に気になり過ぎてしまうので趣味を持った。 家事だけで体力的にも無理になってきました。

本人の世話にあけくれ、身体的、精神的に余裕が全くない。

問7. あなたは、ご本人やご本人以外の家族の支援に限界を感じたことがありますか。

1 ある 146

2 ない 67

問8. 問7で「ある」と答えられた方にお伺いします。

「家族任せの支援」には、限界があります。あなたが願う「社会的支援」の具体的な内容について、思いあたるご意見をお聞かせください

回答数 114名

【相談】 24名

- ・相談支援の場をワンストップにしてほしい。(医療・福祉…等) どこかに相談してもたらいまわしにされて、本人も家族も疲弊してしまう。横断的な知見を備えた人間力のある相談員が常駐するような拠点を作ってほしい。
- ・相談員の方が親の要請に応じて、本人の体調・状態が悪くなった時、話を聞いて頂くと助かる。日頃、相談員の方が本人の状態を定期的に観て頂くと助かる。
- ・日本の社会は精神障害に対する偏見が多く、わからず孤立してしまうことが多い。また、うつ病等、心の健康が損なわれる人が多い。先ず子供の学校の教育現場に障害者について講義する等、学んでいくことが大切。今のコンビニのように、どこに行っても相談できるようなセンターがあるといいと思います。
- ・家族の環境は変わらない、本人の行動を確認して認めてくれる援助が必要。町内のボランティアなど声かけサポートして欲しい。本人も出来る事があれば、参加したいはず。
- ・本人が不登校ひきこもりになったとき、相談する所が少なく、「他人ごと」ただ聞くだけで具体的にどうしたら良いか等を言ってくれる事無く、本当にどうしたら良いか困った。

【生活支援・サービス】 22名

- ・家族だから出来る支援、家族だから出来ない支援があると思います。自分がいなくなった後、姉妹との関係がくずれない事を願います。「社会的支援」にどんなものがあるのか分かり易い情報提供を願います。
- ・私が入院した時、食事の支度を本人の姉に頼んだのですが、病気がある為すごく負担に感じました。こんな時に、すぐ引き受けてくれる(手続きなしで)所があったらと思いました。
- ・家庭のなかに第三者が入ることによって変わって来ると思います。本人が良ければ第三者を迎え話し合いが出来たらと思います。なかなか本人との話は上手くゆきません。
- ・病状悪化の時に家族だけでは病院への搬送が難しい。

【法律による支援の制度】 12名

- ・日本の風習として、家族のことは家族で解決しろという考え方が根強い。ヨーロッパの一部の国では、障害者は社会が見守り対応するという安心した生活規範が出来ている。
- ・本人を支える、家族等を支えることが本人の回復につながるという視点で制度等を改善して欲しい。
- ・いつでも相談出来る場所、人が有ること。必要な公的サービスが適切に受けられる事。法律的にしっかり守られることを望む。

【居住支援・グループホーム】 12名

- ・共同生活も多様であり、親亡き後、子供が安定して生活できるか不安。
- ・病院から地域へ!とのかけ声はずっと聞きますが、実際は家族が中心にならないと支援にならない。地域のセンターや事業所も制約があり、家族が本人の退院後安心して地域の支援に任せられない状況にある。

もっと安心できる社会的な居場所づくりが重要。

【居場所】 4名

- ・当事者が気楽に行ける場所が欲しい。喫茶、スポーツ、レジャーセンターがあれば良い。

【不満】 12名

- ・精神疾患に限らず他の病気の併発もあり、急な症状の対応は一人暮らしの当事者はケアマネさん基幹支援センター等も土・日は休みなので相談できず24時間365日対応できる機関があればさぞかし心強いと思います。今は母である私が動きますが後期高齢者ですし、いつ迄できるかという不安はいつもあります。
- ・役所などは相談してもつめたく思える。自分の信頼出来る人に心の内を聞いてもらう方が心がやすまる。
- ・障害認定の級下げ、障害年金の打ち切りが最も困る。本人の自活は無理。病気の悪化が心配。社会生活全てが駄目になる。
- ・中学・高校からの教育的な相談が欲しかった。病気への気配が感じとれる等があり得なかったか？

【医療】 4名

- ・本人に病識がない場合、受診など医療につなげる方法がない。もっと家族の現状を聞きとり適切なアドバイスが出来る窓口があればと切実に思う。
- ・私の所のように、ひどい引きこもりで人と全く接することができない息子に往診してくれたり、少しでも人と接することができるように支援してほしい。往診して、注射をしてほしい。私たちのようなひきこもりのひどい息子でも一生くらししていける施設はあるのでしょうか、また作ってほしい。

【家族自身への援助】 3名

- ・親を支援してほしい。定期的に医師か心理士か看護師か面談して親の心を支えてほしい。保険適用で。

【就労支援】 2名

- ・本人が仕事に行けなくなったとき、ジョブコーチの様な方が居てくだされば、少しでも仕事に行けたのではと思うことがある。

【前向き】 3名

- ・今は支援の輪が鎖の様に結びつけられ、自分の家のドアを開け手助けてくれる人を歓迎する気持ちさえ持てば道は開かれると思います。
- ・これから多くの勉強です。支援してくれる人、制度などなど。

Ⅷ ご本人の児童・生徒期における学校生活についてお伺いします

問1. ご本人の児童・生徒期に次のような体験はありますか

1 いじめの体験がある 95

2 不登校の体験がある 65

3 特にない 71

4 その他 13

[その他に記述された内容] 学生時代の体験や思い出があまり無い気がする、と 言った事がある。

- ・この病気になってから、いじめの中心人物のそばにいてこわかったと言い出した。近所だったが高校からのつきあいのようで、その時の私は気づかなかった。
- ・小学校2年の時、ネフローゼになり体操運動を禁止され、本人は運動したいと作文に書いていた。
- ・学力、運動機能 遅れていた。 ・姉がよくいじめていた。それが原因と思う。
- ・当時はやっていたカードゲームのカードを盗られたが、自力ではとり返せずストレスがたまった。

問2. あなたは学校教育の現場に何を望まれますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1 いじめや不登校の早期対応 128

2 教師・保護者・児童・生徒への精神疾患理解の普及啓発 160

3 保健体育の教科書への掲載 88

4 スクールカウンセラーの一層の充実 113

5 専門機関との連携など早期支援体制の拡充 15

6 その他 0

- [その他に記述された内容]
- ・クラスの仲間に病気の理解をしてもらえるような付き合いが大切。
 - ・精神疾患は生活環境によって誰でもなる病気であるということを知っておく必要があると考える。
 - ・義務教育の段階からメンタルヘルス教育が必要。
 - ・スクールソーシャルワーカーの充実。
 - ・体育の時間にグループに分けて一人きりになってしまう。そういう状況を作らない努力をお願いしたい。
 - ・小学6年生のときに先生よりいじめを受けた。今の自分ならば学校に掛け合いに行ったと思うが、当時はいけなかった。今でも思い出すと胸が苦しくなる。
 - ・入院中の学習支援

生活実態調査の集計結果は以上です。
アンケートのご協力ありがとうございました。

